



月刊私塾界「特集：デジタル教育最前線」 高校部の取り組みが掲載!

学習塾・予備校の全国業界誌「月刊私塾界 12月号」の特集記事に、**菅田進学塾 premium 高校部**が取り上げられました!

個々の状況に応じて効果的に受講することができる映像授業の利点と、生徒ひとり一人をきめ細かくフォローする菅田進学塾の学習メソッドを組み合わせさせた **premium 高校部**が、塾業界で注目を集めています。

← 鎌取駅南口校の写真も掲載

月刊私塾界 12月号
 Monthly Shingaku No.368
 www.shingaku.jp
 12 DECEMBER 2011

デジタル教育こそ“人”の活用を

特集 デジタル教育最前線

出社したばかりの菅田進学塾は、三年以上、上座を築いた教育業界の一角を占めていた。その中で、デジタル教育の最前線に目を向けてきた。その取り組みが、この特集記事に詳しく紹介されている。菅田進学塾のデジタル教育は、単に教材をデジタル化するだけでなく、生徒一人一人の学習スタイルに合わせて、最適な学習環境を提供している。その取り組みが、この特集記事に詳しく紹介されている。

特集 デジタル教育最前線

アナリスト 今野 篤

2020年にはデジタル教科書
 どうする?
 塾のデジタル教育

一昨年からパンデミック危機を察し、注目を浴びるデジタル教材。デジタル教材には映像授業やインターネットを活用したものからiPadのようなタブレット型端末を利用したものまで様々だ。2020年にデジタル教科書を全小中学校導入するという政府目標があり、今後の動向に注目が集まる。

図1 インターネット学習サービス市場

2007年 540億円
 2008年 600億円
 2009年 700億円
 2010(推) 850億円
 2011(推) 1000億円

図2 ITの対象となる主な教育市場

私立・公立小・中・高	10,490
私立・公立大学	5,071
私立・公立短大	2,962

**東進衛星予備校とのシナジーを
 探求する菅田進学塾**

きっかけは、「もっと勉強したい」と、中三卒塾生からの声だった。塾生の数年間で、菅田進学塾(清水 貫代表、千葉)には高校部がなく、高校入試が終わると生徒たちは皆去っていった。しかし、高い合格実績を誇る同塾に、卒業生から高校に行っても勉強したいと、以前から多くの声が届いていた。この声に寄せられていた。この声によって、高校部創設の動きが始まったのだが、実際に稼働するまでに四年の歳月を要した。なぜなら高校部にも、菅田進学塾らしさを